

TVスタンド
取扱い及び組立説明書

PDR-WAG850BK・WAG1050BK

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。
本製品を組み立てる前に、必ず別紙「安全上のご注意」と下記内容をご覧ください。
正しく組み立て・ご使用されますようお願い致します。

組み立て前にお読み下さい

- 軍手などで手を保護してから組み立ててください。
- 組み立ての際は、付属工具をお使いください。
- 組み立ての際は、手や指を挟まないよう十分ご注意ください。
- 組み立て手順に従い、各部品をしっかりと固定してください。締め付け・かみ合わせが緩いと危険です。
- 組み立て時は床などを傷つけないよう、十分にご注意ください。
- 定期的にボルトやキャスターの締め直しを行ってください。緩んだまま使用されますと、転倒・崩壊の可能性があり、非常に危険です。

ガラス製品に対してのご注意

ガラスの傷や欠けによって、ガラスが破損しやすくなったり、突然破損することがあります。また、破損の際に、ガラスの破片が飛び散りケガの原因となりますので、お取扱いに十分ご注意ください、以下に従ってご使用ください。

- ガラスに傷や欠けが確認できた時は、ご使用を中止してください。
- ガラスに物をぶつけたり、鋭利な物で突いたり、傷つけたり、強い衝撃を与えないでください。
- ガラス扉の場合、ガラス扉が開いている状態で移動したり、ガラス扉を持って移動しないでください。
- 万が一、ガラスが破損した場合は、ガラスの破片を素手で触らないでください。

ガラスには強化処理及び飛散防止フィルムの貼付を施していますが、お取扱いには十分ご注意ください。

製品には万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、エレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。

商品に関する
お問い合わせは

●エレコム 総合インフォメーションセンター

TEL.0570-084-465 FAX.0570-050-012

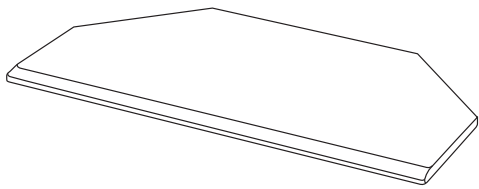
受付時間
9:00～19:00

年中無休

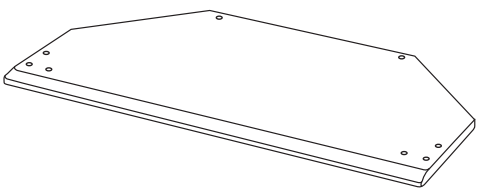
部品一覧

※組み立てを行う前に、以下の部材がすべて揃っているかご確認ください。

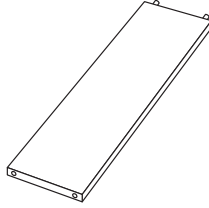
① 天板 1枚



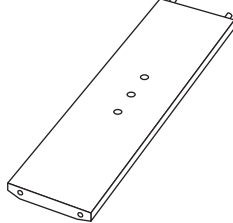
② 底板 1枚



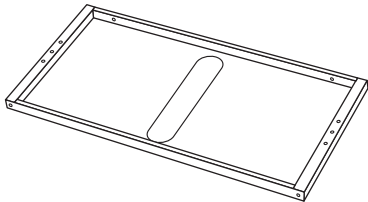
③ 側板 2枚



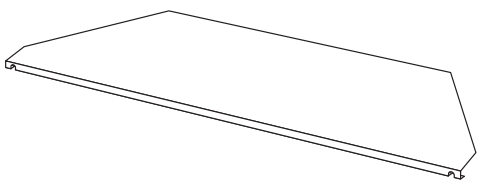
④ 前板 2枚



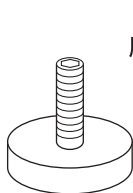
⑤ バックパネル 1枚



⑥ 棚板 1枚

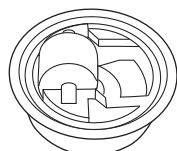


⑦ ストッパー 2個



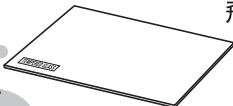
底板に取り付け
てあります

⑧ 隠しキャスター PDR-WAG850 4個
PDR-WAG1050 5個



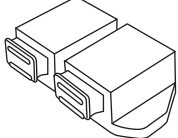
底板に取り付け
てあります

⑩ 扉ガラス 2枚



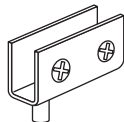
裏面に
飛散防止フィルムが
貼ってあります

⑪ マグネットキャッチ 1個

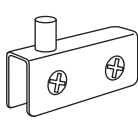


天板に
取り付けてあります

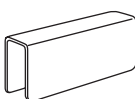
⑬ ヒンジ(A) 2個



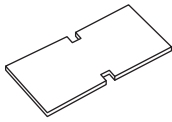
⑭ ヒンジ(B) 2個



⑮ マグネット受け 2個

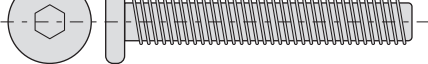


⑯ クッション 2個



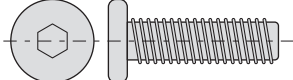
①
11本
(内1本は
予備です)

ボルト (M6×38)



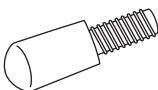
②
3本
(内1本は
予備です)

ボルト (M6×20)



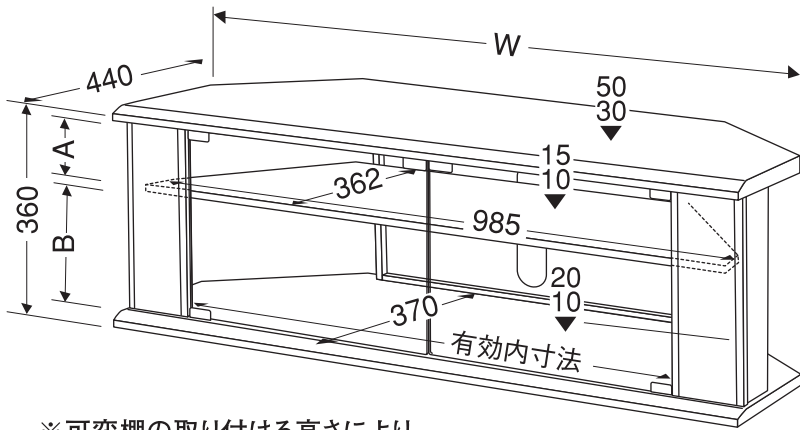
③
4本

棚受けダボ



六角レンチ (+ドライバー付)

付属
工具
1本



※可変棚の取り付けの高さにより、有効高さ寸法が異なります

A	85	115	145
B	170	140	110

耐荷重
(▼Kg)

総耐荷重:80kg

	W	有効内寸法
PDR-WAG850BK	850	668
PDR-WAG1050BK	1050	818

■総耐荷重

製品に載せる機器等重量の合計が数値を超えないようにしてください

■平均分布耐荷重 (図面中の上の数値)

天板・棚板全体に分布するように機器を配置するときの参考にしてください

■中心付近耐荷重 (図面の下の数値)

載せる物の重量がこの数値以下なら、どこに設置してもまず問題はありません

マーク一覧



このマークのある
組み立ては、特に
気を付けて行って
ください。



付属工具を
使った
組み立てが
あります。



ドライバーを
使った
組み立てが
あります。



2人以上で
作業を行っ
て下さい。



組み立てに
左右共通の
パーツを
使用します。



右用と左用とで
部材の形状が異
なります。
組み立て間違い
のないようご注
意下さい。

組立説明

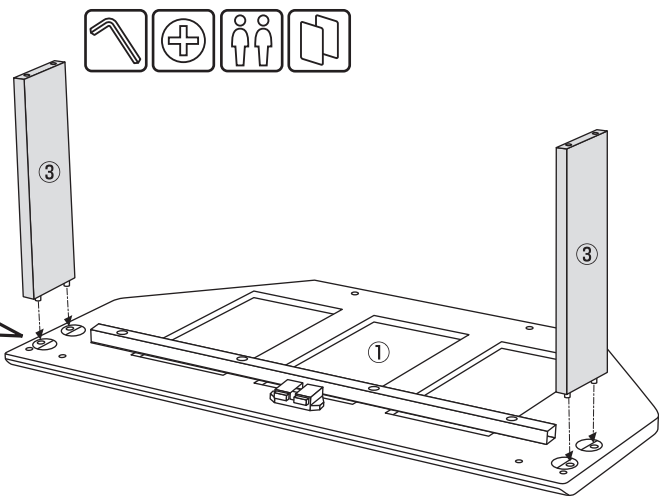
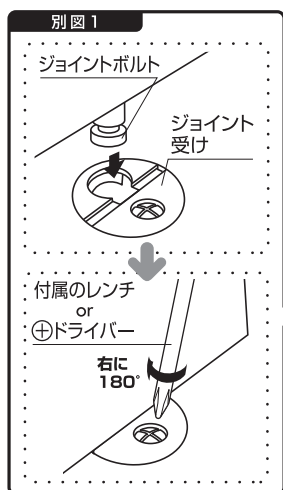
※本製品はロックダウン式家具です。必ず組み立て手順、組み立て上の注意事項等の指示に従って組み立てを行ってください。
※床やラック本体を傷付けないよう、段ボールや防傷シートを敷くなどして組み立ててください。

使用する工具&ご用意いただくもの



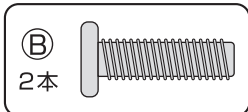
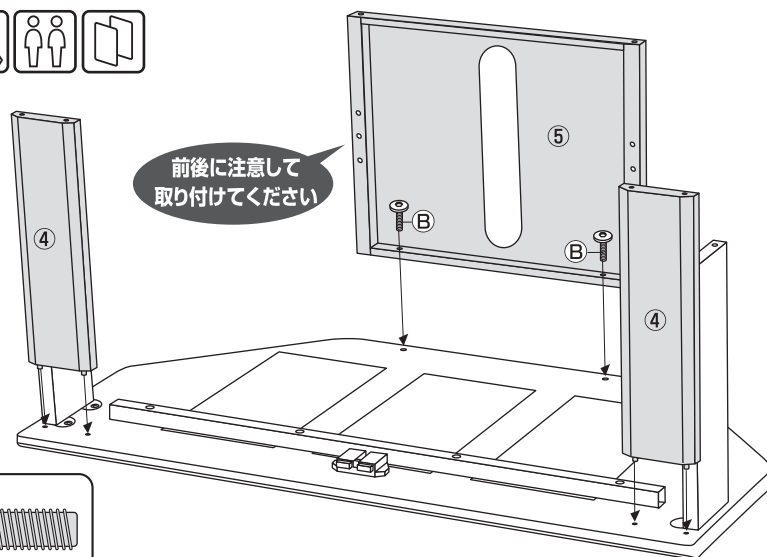
1

- 天板①を裏返しに置き、図のように側板③のジョイントボルトをジョイント受けに差し込みます。
- 付属のレンチもしくは④ドライバーで4ヶ所のジョイント受けの④ネジを、右に180°締め付けます。(別図1参照)



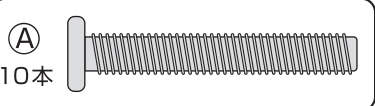
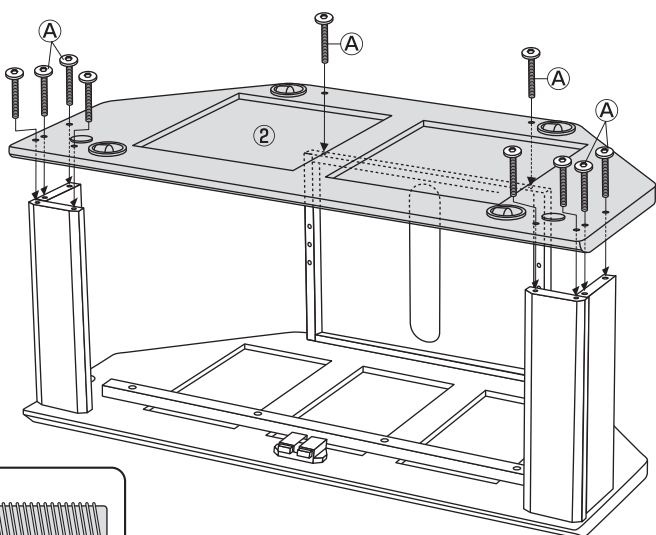
2

- 図のように前板④を差し込みます。
- 前後に注意して、バックパネル⑤をボルト⑥でゆるめに取り付けます。



3

- 付属のレンチを使用して、底板②に前板・側板・バックパネルをボルト④で固定します。
- ゆるく締めておいたボルトを全て締め付けます。



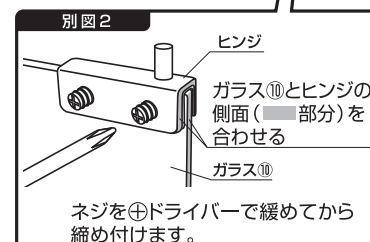
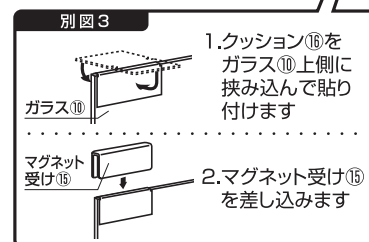
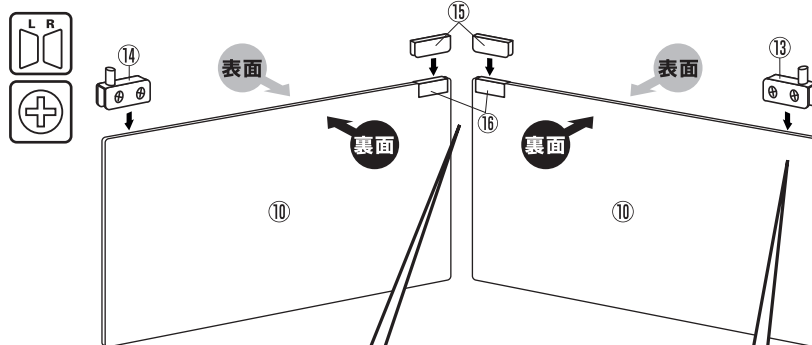
4

- ガラス⑩の表裏に注意して、上側にヒンジ(A)⑬、ヒンジ(B)⑭を④ドライバーで締め付けます。(別図2参照)

注 表面に「TEMPERED GLASS」シールが貼ってあります。

- 次に、クッション⑮を挟み込み、マグネット受け⑯を取り付けます。(別図3参照)

注 ドライバーを使いヒンジのネジでガラス扉とヒンジを固定する時、ネジを必要以上に強く締めないでください。必要以上に強く締めると、ガラスが割れ、ケガの原因となる恐れがあります。



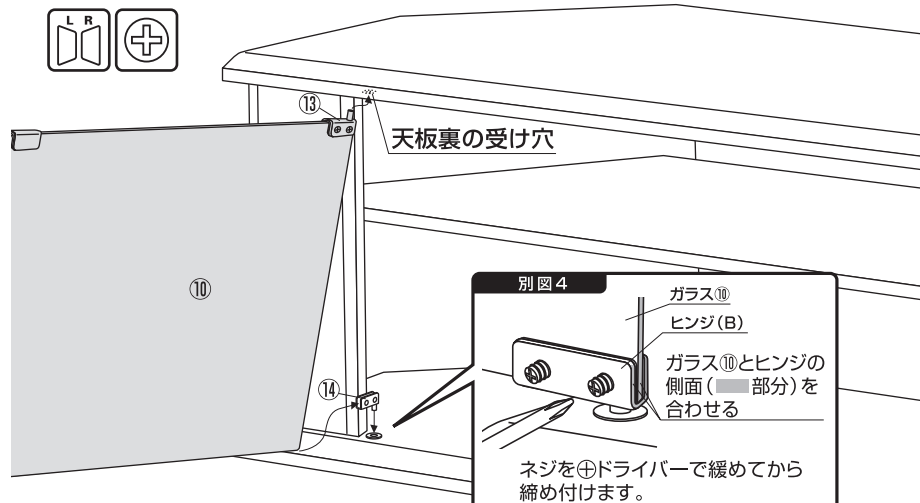
5

注 以下の順番通りに組み立ててください。(もしも順番が異なると無理な取り付けとなり、ガラスが割れケガの原因となる恐れがあります。)

注 ガラス取り付け時には、床にダンボール等を必ず敷いて組み立ててください。ガラスが床に落ちた場合、ガラスが割れる恐れがあります。

注 ドライバーを使いヒンジのネジでガラス扉とヒンジを固定する時、ネジを必要以上に強く締めないでください。必要以上に強く締めると、ガラスが割れ、ケガの原因となる恐れがあります。

- 本体を2人で立て起こします。
- ヒンジ(B)⑭を底板の軸受けの穴に差し込みます。
- 図のように、ガラスの表裏に注意して、上側のヒンジ(A)⑬を天板裏の受け穴に斜めにして差し込み、ガラス扉の下側をヒンジ(B)⑭の溝に差し込み④ドライバーで締め付けます。(別図4参照)
- 右側のガラス扉は、ヒンジ(A)⑬を底板の軸受けの穴に差し込み、同様に取り付けます。



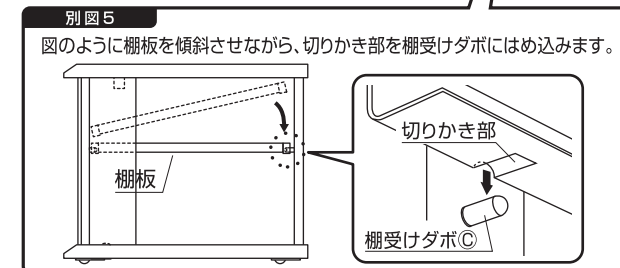
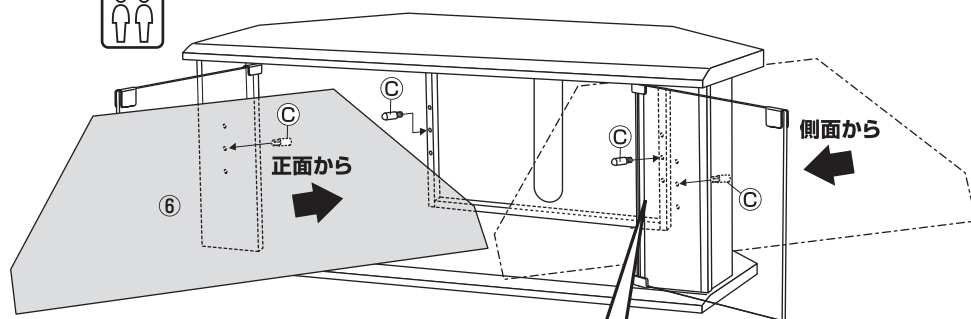
ガラス扉の調節方法

ガラス扉のズレが発生した場合、上下ヒンジのいずれかのネジを④ドライバーで一ヶ所ずつ緩め、ガラス扉をズレがないよう調節し、再度④ドライバーで締め付けます。

注 上下のヒンジのネジを同時に緩めると、ガラスが床に落ちガラスの割れ、ケガの原因となる恐れがあります。

6

- お好みの高さに棚受けダボ⑦を取り付けます。
- 図のように棚板⑥を正面もしくは側面から斜めにして入れます。
- 棚板⑥を傾斜させ、棚受けダボに切りかき部をはめ込みます。(別図5参照)



ストッパーの使用法

左右の前板裏側にストッパーの六角穴があります。

付属のレンチを使用して、右に回すとストッパーが下がり、前部キャスターを床から浮かせてTVスタンドを安定させることができます。
(天板にTV等を載せたまま作業や移動を行わないでください。転倒の危険があり危険です。)

